

四万十の自然木で木工作品を創る「四万十楽舎の柚人(そまびと)」

清流通信の読者の皆さん、こんにちは。今回は四万十川下流の西土佐村にある自然体験施設「四万十楽舎」で木工のスタッフとして参画している梨千春さんの活動を紹介します。

「四万十楽舎」は、平成10年に廃校になった小学校を改築し、自然体験と宿泊ができるようにした施設です。カヌーや釣り、森林散策などスタッフと地元の名人たちがガイド役となって、年々交流人口が増えています。

梨さんは、大学で工業工芸デザインを学んだ後、自転車のデザインや広告のデザインの仕事に従事していましたが、大量生産と大量消費という社会の悪循環に疑問を抱き、真のもののづくりを求めて生まれ育った西土佐村にUターンして来ました。現在、梨さんは「四万十楽舎」でオリジナルの木工製品を創りながら、希望者に対しては木工教室を開き、簡単な写真立てなどの作り方を教えています。

「近年、木材が売れなくなり山の仕事がどんどん減ってきています。これは、子供のうちから、木に接していないことが大きな原因ではないでしょうか。30～40年くらい前までは、柚山(そまやま)といって、生活道具を揃える自分たちの山を持っていました。女の子が生まれたら、桐の木を植えて、結婚するときに桐の筆筒を持たせたという話も県内に多く残っています。木の魅力は、何といたっても人工素材にはない生命感だと思います。木は常に呼吸しているのです。私は、環境問題に興味を持ち始めた時に、四万十楽舎の設立を聞き、絵を描くお手伝いから仲間に入っていました。最近は微力ながら、地元の小中学校の講師として、木に触れ合うことを目的とした木工の授業を受け持っています」と梨さん。

間伐材や雑木、また四万十川の流木を用いた作品は、梨さんの性格が表われているのか、全てが優しく、温かみの感じられるものばかりです。なお、木工製品の販売は、ネット販売をしています。

●お問い合わせ 四万十楽舎 TEL.0880-54-1230

<http://www.netwave.or.jp/~gakusya/nashi/nashi.html>



▲オリジナルパズルを手にする梨さん。



▲白井貴子さんより注文を受けたイス。

Topics

板橋文夫 ジャズコンサート

●日時: 「四万十ライブツアー」

10月16日(土)18:30 松野町滑床
10月17日(日)15:00～ 西土佐村口屋内
10月19日(火)18:30 中村市初崎港

●お問い合わせ:

実行委員会 TEL.090-4789-0469

「第10回アート&クラフトフェア・源流のうた」

四万十川のミニスケールの196mを目標に、皆で長い手作り紙を作ります。

●日時: 11月6日(土)12:00～17:00
7日(日)9:00～16:00

●場所: 梶原町役場駐車場(雨天時は梶原座)

●お問い合わせ: てんぐの風 TEL.0889-68-0028